

2010 年 11 月 18 日(木)

12:30 ~ 16:30

同友クラブ

高坂先生をお迎えして

開倫塾の塾長で、開倫研究所の所長を務める林明夫でございます。本日は、中国の天津(てんしん)で開催される世界経済会議のサマー・ダボスに参加のため、高坂先生の講演会に参加できませんことをまずお詫び申し上げます。

中国の大学定員 600 万人に対する大学統一試験の受験者は、2009 年はじめて 1000 万人を越えました。インドは貧困からの脱却のため、これから 5 年の間に 1600 の大学を設立しようとしています。アメリカだけでなくヨーロッパでも大学の大衆化がすすみ、ヨーロッパの共通言語である英語がこの 20 年間でヨーロッパのどの国でも使えるようになりました。

知識基盤社会、グローバル化された社会を背景に、世界は大学学習ブームにわいています。このような時期に東京都の教育委員や漢字検定協会の専務理事をお務めの高坂節三先生を足利の地にお迎えし、東京都の教育政策やこれからの日本のあるべき教育の姿を皆様とともに考えることは意義深いことと確信いたします。高坂先生は、京都大学教授を務められた高名な政治学者高坂正堯(こうさか まさたか)先生の実弟であられ、御自身も経済同友会憲法問題調査会委員長を務められた先生であります。また、国土交通大臣の前原誠司氏の東京後援会長として、民主党の政策決定にも大きな影響力をお待ちの先生でもあります。

世界は我々が考えている以上に厳しい動きをしています。

本日は、このような高坂先生から有意義なお話をお聴きし、明日からの皆様の活動のお役に立てて頂ければ幸いです。

それでは、高坂先生よろしくお願ひ申し上げます。

2010 年 9 月 11 日

開倫研究所

所長 林明夫